

(款) 15民生費 (項) 5社会福祉費 (目) 30老人福祉施設費

◎高齢者福祉施設の経費

<b>老人センター等管理運営事業</b>	【 高齢者いきいき課 】
----------------------	--------------

【総合計画上の位置づけ】

健やかで心豊かに暮らせるまち

健康福祉:すべての市民が健康で安心して生活を送ることのできる環境が整っているまち

【事業の目的】

対象 高齢者(本市に住所を有する60歳以上の者)

意図 健康増進、教養の向上、レクリエーションのための機会を供与するため。

効果 外出やコミュニケーションによって、高齢者の健康的で明るい、生きがいのある生活を実現する。

【事業の内容】

(1) 老人センター等管理運営事業

- ・ 名越やすらぎセンター、教養センター、今泉さわやかセンター、玉縄すこやかセンター及び老人いこいの家こゆるぎ荘の管理運営業務を、指定管理者に委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
205,287	208,138	207,936		202

主な支出内訳

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人センター等管理運営事業</li> <li style="padding-left: 20px;">維持修繕料 <span style="float: right;">30,394</span></li> <li style="padding-left: 20px;">老人福祉センター等指定管理料 <span style="float: right;">173,073</span></li> <li style="padding-left: 20px;">各センター 計5件備品購入費 <span style="float: right;">4,469</span></li> </ul>
--

主な特定財源

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国県支出金 <span style="float: right;">2,180</span></li> </ul>
--

利用状況

施設名	延利用者数(人)	内 訳				
		クラブ数	クラブ活動利用者数(人)	講座数	講座利用者数(人)	一般利用者数(人) 団体利用者数(人)
教養センター	59,980	107	23,073	39	11,420	20,921 4,566
名越やすらぎセンター	22,670	25	8,827	21	1,109	11,803 931
玉縄すこやかセンター	25,912	32	9,845	12	649	15,126 292
今泉さわやかセンター	37,545	28	16,790	19	601	19,350 804
老人いこいの家 (こゆるぎ荘)	9,170	11	4,382	4	114	4,168 506

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 <b>健福-22 老人センター等管理運営事業</b> □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1034 老人センター等管理運営事業	・老人福祉センター及び老人いこいの家				
主管課	高齢者福祉課(高齢者いきいき課)	関連課					
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	高齢者の教養の向上と心身の健康増進						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	207,936千円	207,898千円	179,668千円			
	(国・県)	2,180千円					
	(負担金等)						
	(一般財源)	205,756千円	207,898千円	129,202千円			
	人員配置数	0.8人	0.5人	0.8人			
	人 件 費	7,542千円	4,801千円	7,363千円			
協働の パートナー	社会福祉協議会	社会福祉協議会	社会福祉協議会				
事務事業 運営経費	総事業費	215,478千円	212,699千円	136,565千円	H20 対象者数 (60歳以上) :60,610人		
	市民1人当 りの経費	1,220円	1,209円	787円			
	対象者1人 当りの経費	3,555円	3,716円	2,487円			
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
60歳以上対象者数 延利用人数	×	目標値	57,237人	60,610人			
		実績値	156,583人	154,277人			
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 利用人数の拡大
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 利用者アンケートを行い、ニーズを把握しながら、改善に努めている。 また、センターの活動を市民に知ってもらうため、活動内容の展示を定期的に行った。 その結果、センターによっては利用者の増加につながったが、また別のセンターでは利用者が減っているセンターもある。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 利用人数の拡大
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 今後も、利用者ニーズに応えるべく、指定管理者・利用者と協議しながら改善に努めていく。 また、地域の連携を促進する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	高齢化が進む中、元気な高齢者の学習意欲の向上と健康の増進、生きがいの充実と団塊世代に必要な施設内容づくりのため継続していく。				
担当課長氏名:		高齢者いきいき課長 野田 充博			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	生きがい対策として必要な施設である。運営については今後さらに検討していく。				
担当部名	健康福祉部	部長名	石井 和子		